

地域のかお シリーズ105

創立200周年に向けて

宮崎市立佐土原小学校

校長 花園 裕子

江戸時代の1825年に創設された学習館が始まりである佐土原小学校は、敷地内に佐土原城追手門があったことを記す標柱があったり、学校の近くに鶴松館があったりする等、佐土原城と深い関係があります。そのため、6年生は総合的な学習の時間に鶴松館や宮崎市教育委員会文化財課のご指導を受けて、佐土原城や島津藩の歴史を学んでいます。商家資料館の旧阪本家も学校の近くにあり、佐土原の歴史を身近に感じることができます。全校児童252名は、「佐土原小学校七つの行い」を守りながら学校生活を送っています。

「七つの行い」とは、

- 一、「はい」「いいえ」をはっきり言います。
 - 一、はきものをきちんとそろえます。
 - 一、あいさつをよくします。
 - 一、時間を守ります。
 - 一、ものを大切にします。
 - 一、自分も人も大切にします。
 - 一、進んで行動します。
- という七つの約束です。

この「七つの行い」を全校児童で守って学校生活を送っていることを書いた児童の作文が4月に新聞に掲載されたところ、地域の方からお便りが届きました。

正門のそばにあります。



そのお便りには、「旧佐土原町時代には五つの行いが作成され推奨されていたこと」「宮崎市との合併後に五つの行いがだんだん薄れていったこと」「10年ほど前に佐土原小七つの行いとして五つの行いを継承し残していくことにしたこと」等が記されていました。お便りをいただいたことで「七つの行い」の歴史を知ることができ、児童、職員ともに感動しました。そして、改めてこの「七つの行い」を大切に守っていききたいという気持ちを強くもつとともに、地域の方々の佐土原小学校への厚い思いを感じました。総合的な学習の時間には、5年生は地域の方に協力していただき稲を栽培したり、4年生は鯨ようかんのお店を見学したりしています。

地域、保護者の皆様に支えられて学校の教育活動ができることを大変有難く思っています。色々な方々に支えていただきながら、学校のリーダーである5・6年生を中心に、全校児童で創立200周年に向けて頑張っていきたいと思っています。



【創立200周年を迎える佐土原小学校】



＜さつまいも・夏の花の苗を植え付けました！＞5月25日（土）



大きなお芋
に育ってね！



【紅はるか】

【マリーゴールド・アングロニア・ニチニチソウ】